

12. シュルクウィル ピロケース&スプレー

● 研究開発の概要

平成16年度に、群馬大学機器分析センター、群馬県繊維工業試験場、ミツミテニー株式会社と共同で、北関東産学官研究会の支援により実施した共同研究成果です。

繊維製品への高付加価値化を目指し、シルクプロテイン(絹タンパク質)の一種であるセリシンで処理し、風合い等の改善を図ったものです。

いくつかの製品化を検討したなかで、安眠のためのピロケース及び性能再生のためのスプレーを商品化いたしました。

産業技術センターでは、主に、セリシン処理した繊維表面の表面分析評価を担当いたしました。

● 製品サンプルの特徴

製品サンプルであるピロケースとスプレーを下の写真に示します。ポリエステル繊維表面にポリフェノールの一種であるタンニンで処理し、その上にセリシンをナノメートルサイズ厚で固着したものです。これにより、繊維の吸水性が増大し、風合いが改善されました。

廃棄物となるシルクプロテインであるセリシンの有効利用を図ると共に、繊維製品の高付加価値化を狙ったものです。



● 製品サンプルの課題や今後の予定

これまでの販売実績は、さほどありませんが、市場開拓を進めているところです。

共同研究
企業等

群馬大学機器分析センター、繊維工業試験場、ミツミテニー株式会社

グループ名
担当者名

群馬産業技術センター 環境材料グループ 宮下喜好